

安全データシート

作成 2021年07月30日

1. 製品及び会社情報

製品名	: ISOSPIN Soil DNA	
製品コード	: 310-09151	
	Kit の構成	①Lysis Solution BB ②Lysis Solution 20S ③Lysis Solution A ④SE Buffer ⑤SB Buffer ⑥SW Buffer ⑦TE(pH8.0) ⑧RNase A (100 mg/ml) ⑨Beads Tube ⑩Spin Column
会社名	: 株式会社ニッポンジーン	
住所	: 富山県富山市問屋町 2-7-18	
電話番号	: 076-451-6548	
FAX 番号	: 076-451-6547	

2. 危険有害性の要約

②Lysis Solution 20S (ドデシル硫酸ナトリウム) について記載

GHS 分類	: 急性毒性(経皮)	: 区分 3
	皮膚腐食性・刺激性	: 区分 2
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分 1
	特定標的臓器毒性・単回ばく露	: 区分 1 (中枢神経系)
	特定標的臓器毒性・反復ばく露	: 区分 2 (肝臓)
	水生環境急性有害性	: 区分 2

GHS ラベル要素

注意喚起語



危険

危険有害性情報

: H312 皮膚に接触すると有害
 H315 皮膚刺激
 H318 重篤な眼の損傷
 H370 中枢神経系の障害
 H373 長期にわたる、または、反復ばく露により肝臓の障害のおそれ
 H401 水生生物に毒性

注意書き 【安全対策】

P260 粉塵またはミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
 P264 取扱い後は顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと。
 P270 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 P273 環境への放出を避けること。

【応急措置】

P280 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
 P310 眼に入った場合：直ちに医師に連絡すること。
 P312 皮膚に付着した場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
 P308+P311 ばく露又は、ばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
 P332+P313 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
 P362+P364 汚染された衣類を脱ぐこと、再使用する場合には洗濯すること。
 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。

【保管】

P405 施錠して保管すること。

【廃棄】 P501 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

③Lysis Solution A について記載

GHS 分類 : 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分 2B
 注意喚起語 : 警告
 危険有害性情報 : H320 眼刺激
 注意書き 【安全対策】 P264 取扱い後は顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと。
 【応急措置】 P337+P313 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。

④SE Buffer について記載

GHS 分類 : 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分 2B
 注意喚起語 : 警告
 危険有害性情報 : H320 眼刺激
 注意書き 【安全対策】 P264 取扱い後は顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと。
 【応急措置】 P337+P313 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。

⑤SB Buffer について記載

GHS 分類 : 急性毒性（経口） : 区分 4
 皮膚腐食性/刺激性 : 区分 2
 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分 2A

GHS ラベル要素

注意喚起語



警告

危険有害性情報

: H302 飲み込むと有害
 H315 皮膚刺激
 H319 強い眼刺激

注意書き 【安全対策】

P264 取扱い後は顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと。
 P270 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 P280 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

【応急措置】

P330 口をすすぐこと。
 P362 汚染された衣服を脱ぎ、再利用する場合には、洗濯すること。
 P301+P312 飲み込んだ場合：医師に連絡すること。
 P302+P352 皮膚に付いた場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
 P332+P313 皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。
 P337+P313 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。

【保管】

P405 施錠して保管すること。

【廃棄】

P501 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

⑥SW Buffer (エタノール) について記載

GHS 分類 : 引火性液体 : 区分 2
 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分 2B
 発がん性 : 区分 1A
 生殖毒性 : 区分 1A
 特定標的臓器毒性・単回ばく露 : 区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)
 特定標的臓器毒性・反復ばく露 : 区分 1 (肝臓)
 : 区分 2 (中枢神経系)

GHS ラベル要素

注意喚起語



危険

危険有害性情報	: H225 引火性の高い液体及び蒸気 H320 眼刺激 H335 呼吸器への刺激のおそれ H336 眠気又はめまいのおそれ H350 発がんのおそれ H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ H372 長期又は反復ばく露による肝臓の障害 H373 長期又は反復ばく露による中枢神経系の障害のおそれ
注意書き 【安全対策】	P201 使用前に取扱説明書を入手すること。 P202 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙。 P233 容器を密閉しておくこと。 P240 静電的に敏感な物質を積み直す場合、容器を接地すること、アースを取ること。 P241 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。 P242 火花を発生させない工具を使用すること。 P243 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 P260 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 P264 取扱い後は顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと。 P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 P280 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
【応急措置】	P312 吸入した場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。 P314 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。 P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 P308+P313 ばく露又は、ばく露の懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。 P337+P313 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。 P370+P378 火災の場合には適切な消火方法をとること。 P303+P361+P353 皮膚または髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。
【保管】	P405 施錠して保管すること。 P403+P233 換気の良い所で保管すること。容器を密封しておくこと。 P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
【廃棄】	P501 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

⑨Beads Tube (酸化ジルコニウム焼結体) について記載

GHS 分類	なし
絵表示	なし
注意喚起語	なし
物理化学的危険性	通常の手取り扱いは、危険性は低い
健康有害性	通常の手取り扱いは、危険性は低い
環境有害性	通常の手取り扱いは、危険性は低い

3. 組成及び成分情報

①Lysis Solution BB

化学物質・混合物 : 混合物

化学名又は一般名	濃度	化学特性(化学式)	CAS 番号	危険有害成分
Trade secret	非開示	非開示	非開示	特になし

②Lysis Solution 20S

化学物質・混合物 : 混合物

化学名又は一般名	濃度	化学特性(化学式)	CAS 番号	危険有害成分
ドデシル硫酸ナトリウム	≤ 20%(w/v)	C12H25SO4Na	151-21-3	ドデシル硫酸ナトリウム
Trade secret	非開示	非開示	非開示	特になし

③Lysis Solution A

化学物質・混合物：混合物

化学名又は一般名	濃度	化学特性(化学式)	CAS 番号	危険有害成分
Trade secret	非開示	非開示	非開示	非開示

④SE Buffer

化学物質・混合物：混合物

化学名又は一般名	濃度	化学特性(化学式)	CAS 番号	危険有害成分
Trade secret	非開示	非開示	非開示	非開示

⑤SB Buffer

化学物質・混合物：混合物

化学名又は一般名	濃度	化学特性(化学式)	CAS 番号	危険有害成分
Trade secret	非開示	非開示	非開示	非開示

⑥SW Buffer

化学物質・混合物：混合物

化学名又は一般名	濃度	化学特性(化学式)	CAS 番号	危険有害成分
エタノール	>60 %(v/v)	C ₂ H ₆ O	64-17-5	エタノール
Trade secret	非開示	非開示	非開示	特になし

⑦TE (pH8.0)

化学物質・混合物：混合物

化学名又は一般名	濃度	化学特性(化学式)	CAS 番号	危険有害成分
Tris-HCl (pH8.0)	10mM	データなし	特定されていない	特になし
EDTA (pH8.0)	1mM	データなし	特定されていない	特になし

⑧RNase A

化学物質・混合物：混合物

化学名又は一般名	濃度	化学特性(化学式)	CAS 番号	危険有害成分
RNase A	100 mg/ml	データなし	特定されていない	特になし
Trade secret	非開示	非開示	非開示	特になし

⑨Beads Tube

化学物質・混合物：混合物

化学名又は一般名	濃度	化学特性(化学式)	CAS 番号	危険有害成分
酸化ジルコニウム	90～96%	ZrO ₂	1314-23-4	酸化ジルコニウム
酸化イットリウム	3～7%	Y ₂ O ₃	1314-36-9	酸化イットリウム
酸化ハフニウム	1～3%	HfO ₂	12055-23-1	酸化ハフニウム

4. 応急措置

- 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗い流す。炎症を生じた時は医師の診断、手当てを受けること。
②: 汚染された衣類を脱ぐこと。汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
直ちに付着部分を多量の水と石鹼で洗うこと。医師の診断を受けること。
- 目に入った場合：直ちに多量の水で15分以上洗い流す。
異常があれば、医師の診断、手当てを受けること。
②: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。医師の診断を受けること。
- 予想される急性症状及び遅発性症状
- 吸入：②: 咽頭痛、咳
 - 皮膚：②: 発赤
 - 眼：②: 発赤、痛み
 - 経口摂取：②: 吐き気、嘔吐、下痢
 - 最も重要な徴候症状：②: 皮膚炎を引き起こすことがある。

5. 火災時の措置

消火剤	: 噴霧水、粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂、耐アルコール性泡消火剤
使ってはならない消火剤	: 特になし
火災時の特有危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有害なガスを発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法	: 火元の燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火活動は、可能な限り風上から行う。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。
消火を行う者の保護	: 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置	: 作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止措置及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 適切な防護衣を着けていない時は破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。 関係者以外の立ち入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項	: 環境への放出を避けること。
封じ込め及び浄化の方法・機材	: 漏出した液は、ウェス、雑巾で出来るだけ回収し、こぼした所を完全に拭きとる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 特になし
局所排気・全体換気	: 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。
安全取扱注意事項	: 眼、皮膚との接触を避けること。飲み込みを避けること。ガスを吸入しないこと。 適切な保護具を着用する。 取扱い後は顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと。 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。 環境への放出を避けること。 使用前に使用説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
接触回避	: データなし
保管	
適切な保管条件	: 室温で保管する。 ⑧:2~10℃で保存する。
技術的対策	: 特になし
混触禁止物質	: データなし
安全な容器包装材料	: ポリエチレン、ポリプロピレン

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度	
ACGIH(TLV)	: データなし
日本産業衛生学会	: 設定されていない
設備対策	: 蒸気やミストが発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	: 保護マスク
手の保護具	: 適切な保護手袋
目の保護具	: 適切な保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護作業衣、保護靴

9. 物理的及び化学的性質

外観 (物理的状態、形状、色など)

	: 無色澄明な液体	⑨: 白色の粉末
臭い	: 無臭	③: 微かな酢酸臭
	④: 酢酸臭	⑥: エタノール臭
融点・凝固点	: データなし	
沸点、初留点及び沸騰範囲	: データなし	
可燃性	: データなし	
燃焼又は爆発範囲(上限・下限)	: データなし	
引火点	: データなし	
自然発火温度	: データなし	
分解温度	: データなし	
pH	: データなし	④: 弱酸性 ⑦: 8.0
動粘性率	: データなし	
溶解度	: 水と混合する	⑨: 不溶
n-オクタノール/水分配係数	: データなし	
蒸気圧	: データなし	
密度及び/又は相対密度	: データなし	
相対ガス密度	: データなし	
粒子特性	: データなし	

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる
危険有害反応可能性	: ②: 燃焼すると分解し、一酸化炭素や硫黄酸化物を含む有毒で腐食性のガスを生じる。 強酸化剤や強酸と反応する。 ④: 空气中で爆発性過酸化物を生成する事がある。 次亜塩素酸カルシウム、酸化銀、アンモニアと徐々に反応し、火災や爆発の危険をもたらす。硝酸、硝酸銀、硫酸第二水銀、過塩素酸マグネシウムなどの酸化剤と激しく反応し、火災と爆発の危険をもたらす。 ある種のプラスチック、ゴム、被膜剤を侵す。
避けるべき条件	: 日光、熱 ④: 高温へのばく露
混触危険物質	: ②: 強酸化剤や強酸 ④: 強酸化剤、次亜塩素酸カルシウム、酸化銀、アンモニア
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素、二酸化炭素 ②: 一酸化炭素やイオウ酸化物を含む有毒で腐食性のガス

11. 有害性情報

②Lysis Solution 20S (ドデシル硫酸ナトリウム) について記載

急性毒性	: 経口 ラット LD ₅₀ > 5000mg/kg 含有量 ≤ 20%	区分に該当しない
	: 経皮 ウサギ LD ₅₀ = 1000mg/kg 含有量 ≤ 20%	区分 3
	: 吸入 データなし	
皮膚腐食性・刺激性	: ウサギ 「皮膚刺激」	区分 2
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: ウサギ 「非可逆的な症状の観察」	区分 1
呼吸器感受性又は皮膚感受性	: 呼吸器感受性: データなし	
	: 皮膚感受性 : モルモット Maximization 試験: 陰性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	: 生殖細胞 in vivo 変異原性試験 小核試験: 陰性	区分に該当しない
発がん性	: データなし	
生殖毒性	: ヒトの生殖影響に関する情報はない。	区分に該当しない
特定標的臓器毒性・単回ばく露	: 下痢、自発運動低下、努力呼吸、呼吸数減少、昏睡、振戦、強直間代性痙攣、呼吸困難が認められた。	区分 1 (中枢神経系)
特定標的臓器毒性・反復ばく露	: ALT 及びアルカリホスファターゼ活性の増加がみられ、肝臓では肝細胞のわずかな肥大、分裂細胞の増加がみとめられた。	区分 2 (肝臓)
誤えん有害性	: データなし	

③Lysis Solution A について記載

急性毒性	: データなし		
皮膚腐食性・刺激性	: データなし		
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 刺激性あり		区分 2B
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データなし		
生殖細胞変異原性	: データなし		
発がん性	: データなし		
生殖毒性	: データなし		
特定標的臓器毒性・単回ばく露	: データなし		
特定標的臓器毒性・反復ばく露	: データなし		
誤えん有害性	: データなし		

④SE Buffer について記載

急性毒性	: 経口	ラット	LD ₅₀ > 5,000mg/kg	区分に該当しない
	: 経皮		データなし	
	: 吸入		データなし	
皮膚腐食性・刺激性	: データなし			
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 軽度の眼刺激			区分 2B
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データなし			
生殖細胞変異原性	: データなし			
発がん性	: データなし			
生殖毒性	: データなし			
特定標的臓器毒性・単回ばく露	: データなし			
特定標的臓器毒性・反復ばく露	: データなし			
誤えん有害性	: データなし			

⑤SB Buffer について記載

急性毒性	: 経口	ラット	LD ₅₀ < 2000mg/kg	区分 4
	: 経皮	ウサギ	LD ₅₀ > 2000mg/kg	区分に該当しない
	: 吸入	ラット	LC ₅₀ > 5mg/L	区分に該当しない
皮膚腐食性・刺激性	: ウサギ「皮膚刺激」			区分 2
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: ウサギ「強い眼刺激」			区分 2A
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データなし			
生殖細胞変異原性	: データなし			
発がん性	: データなし			
生殖毒性	: データなし			
特定標的臓器毒性・単回ばく露	: データなし			
特定標的臓器毒性・反復ばく露	: データなし			
誤えん有害性	: データなし			

⑥SW Buffer (エタノール) について記載

急性毒性	: 経口	ラット	LD ₅₀ > 5000mg/kg	区分に該当しない
	: 経皮	ウサギ	LDLo = 20,000 mg/kg bw	区分に該当しない
	: 吸入(蒸気)	ラット	LC ₅₀ > 20,000ppmV(4h)	区分に該当しない
皮膚腐食性・刺激性	: ウサギ 「刺激性なし」			区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: ウサギ 「中程度の眼刺激」 かつ 7 日以内に症状がほぼ回復している。			区分 2B
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データなし			
生殖細胞変異原性	: 標準的 in vivo 及び in vitro 変異原性試験：陰性			区分に該当しない
発がん性	: IARC エタノールの摂取により、エタノール及び主代謝物であるアセトアルデヒドが食道などに悪性腫瘍を誘発する。			区分 1A
生殖毒性	: 一定量以上の飲酒が流産の発生或は発生リスクを増加させる。妊婦の習慣的な飲酒が胎児に発育抑制、小頭症、特徴的顔貌、精神障害などを起こす胎児性アルコール症候群の報告がある。			区分 1A
特定標的臓器毒性・単回ばく露	: 吸入ばく露試験で、昏迷、傾眠、軽度の麻痺が観察される。			区分 3 (麻酔作用)
	: 吸入ばく露試験では低濃度でも眼と上気道に刺激性がある。			区分 3 (気道刺激性)
特定標的臓器毒性・反復ばく露	: 長期大量摂取はほとんど全ての器官に悪影響を及ぼす。最も強い影響を与える標的器官は肝臓であり、障害は脂肪変性に始まり、壊死と線維化の段階を経て肝硬変に進行する。			区分 1 (肝臓)
	: アルコール摂取による重度の身体的依存症は、振戦、痙攣、譫妄の禁断症状に加え、しばしば嘔気、脱力、不安、発汗を伴い、アルコールを得るための意図的行動、及			

誤えん有害性 : び反射亢進が顕著となると述べられている。 : 区分 2 (中枢神経系)
: データなし

12. 環境影響情報

②Lysis Solution 20S (ドデシル硫酸ナトリウム) について記載

生態毒性 : 甲殻類(アカルチア) EC50/LC50=0.12mg/L/96H
含有量≤20% 水生環境急性有害性: 区分 2
残留性・分解性 : 急速分解性が有り (85.0% by BOD、99.3% by TOC)
生体蓄積性 : 甲殻類 (ネコゼミジンコ) NOEC = 0.88 mg/L
水生環境慢性有害性: 区分に該当しない
土壤中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : データなし

③Lysis Solution A について記載

生態毒性 : データなし
残留性・分解性 : データなし
生体蓄積性 : データなし
土壤中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : データなし

④SE Buffer について記載

生態毒性 : 魚類 (Oncorhynchus mykiss) LC₅₀ = 6800mg/L/96h
水生環境急性有害性: 区分に該当しない
残留性・分解性 : データなし
生体蓄積性 : データなし
土壤中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : データなし

⑤SB Buffer について記載

生態毒性 : データなし
残留性・分解性 : データなし
生体蓄積性 : データなし
土壤中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : データなし

⑥SW Buffer (エタノール) について記載

生態毒性 : 魚類 (ファットヘッドミノー) LC₅₀ > 100mg/L/96H
水生環境急性有害性: 区分に該当しない
残留性・分解性 : 急速分解性があり: 89% by BOD
生態蓄積性 : 難水溶性でない (水溶解度=1.00×10⁶mg/L)
水生環境慢性有害性: 区分に該当しない
土壤中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。
なお上記方法による処理が出来ない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号 : 該当なし
海洋汚染物質 : 非該当
国際規制
陸上規制情報 : ADR/RID 規制されていない

海上規制情報	: IMO	規制されていない
航空規制情報	: ICAO/IATA	規制されていない
国内規制		
陸上規制情報	: 規制なし	
海上規制情報	: 非危険物	
航空規制情報	: 非危険物	
特別な安全対策	: 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。	

15. 適用法令

ドデシル硫酸ナトリウムについて記載

消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化学物質管理促進法	: 第一種指定化学物質 No.275

Lysis Solution A について記載

消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化学物質管理促進法	: 非該当

SE Buffer について記載

消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化学物質管理促進法	: 非該当

SB Buffer について記載

消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化学物質管理促進法	: 非該当

エタノールについて記載

消防法	: 危険物第4類 アルコール類 (水溶性) 危険等級2
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき有害物 (法第57条) No.61 名称等を通知すべき有害物 (法第57条の2) No.61
化学物質管理促進法	: 非該当

酸化ジルコニウム焼結体について記載

消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 酸化ジルコニウム : 名称等を表示すべき有害物 (法第57条) No.313 : 名称等を通知すべき有害物 (法第57条の2) No.313 酸化イットリウム : 名称等を通知すべき有害物 (法第57条) No.54 : 名称等を通知すべき有害物 (法第57条の2) No.54 酸化ハフニウム : 名称等を通知すべき有害物 (法第57条) No.438 : 名称等を通知すべき有害物 (法第57条の2) No.438
化学物質管理促進法	: 非該当

16. その他の情報

引用 NITE 化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)
http://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop
 原料試薬供給先から提供された SDS 等

-
- * 本データシートは試薬に関する一般的な取扱いを主に記載しており、試薬以外としての取扱い及び大量取扱いに関しては考慮されていない場合があります。また、現在での最新の情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。
 - * 新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。
 - * 記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。
 - * 特殊条件下で使用するとき、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください